

民主主義とは何か

—2022年の視点

東京大学社会科学研究所教授
宇野重規しげき

- * 民主主義サミットの意味するもの
- * 日本の民主主義を指標から考える
- * 現代における民主主義の危機とは何か
- * 古代の民主制と代議制民主主義の違いとは
- * 民主主義の政治制度は未完成
- * 注視すべきはイニシアチブを取る執行権
- * 必要な民主的説明責任の回復
- * 選挙制度に対する疑問
- * 民主主義が2500年間消滅しなかった理由
- * 2022年は世界の民主主義が問われる年



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

本日は、東大の教授でいらっしやいます宇野重規先生においでいただきました。ご存じのように、2021年度の石橋湛山賞を『民主主義とは何か』というご著書で受賞されておられます。今日は、ある意味、記念講演ということでございます。

授賞式のとくにちょっとお話しになりましたが、コロナ禍で、皆さんも記憶があるかもしれませんが、学術会議の任命拒否という問題で、それはそうだったのかと、いろんなつらい時期を過ごされたということございまして、そういう中からこの『民主主義とは何か』も生まれましたし、湛山賞を差し上げるということも、非常にある意味でわれわれにとってもいい結果

になったと考えております。

アベノミクスの7年間を評価する方もおられますが、一方では、政権が強権化して、いろんなところで上からの押し付けとか官僚による忖度とか、いろんな問題が生まれたわけです。世界中で起こっていることと同じように、日本でも政権の強権化とか民主主義の土台を揺るがすようないろんなことが起きているわけです。今日は、改めて民主主義というのは何かということとを宇野先生から教えていただくということ、たいへんありがたい機会をいただけたと思います。

それでは宇野先生、よろしくお願いいたします。（拍手）